学力向上通信　Vol. 36
「三重の学-Viva!!（まなびば）」
２月号

三重の学Viva!!

2
2018

発行者：三重県教育委員会
「学力向上緊急対策チーム」
連絡先：研修推進課
TEL：059-226-3572

※学-Viva：「Viva」は，「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む
「地域とともにある学校づくり」の推進

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、教育課題が多様化・複雑化する中、学校だけでなく、社会全体で子どもたちを育てることが求められています。新学習指導要領には「社会に開かれた教育課程」の実現の重要性が示され、その実現に向けて「地域とともにある学校づくり」がより重要になっています。

三重県では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等の地域と一体となって子どもたちを育む仕組みの導入や、学校支援地域本部等による地域住民等の知識・技能を活用した学校支援体制づくりを推進しています。

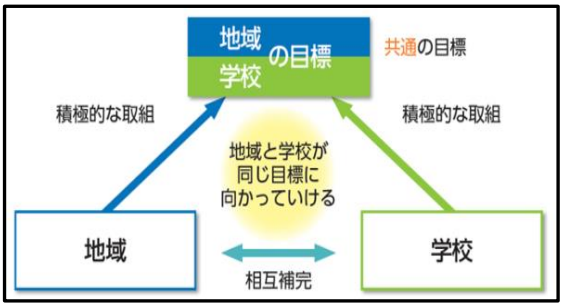
「地域とともにある学校づくり」に向けて

○学校と地域が、目標やビジョンを共有
　「地域でどのような子どもを育てていくのか」
　「何を実現していくのか」
○共有した目標やビジョンの達成に向けて、
　連携・協働した取組を実施

地域と学校が一体となって、役割分担しながら、それぞれが主体的に取り組むので、お互いに達成感を味わうことができる。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、「地域とともにある学校づくり」のための有効な仕組みです。

目標やビジョンの共有によって取組がより効果的に！



【文部科学省：コミュニティ・スクールパンフレット　参照】

学校と地域の連携・協働した事例

松阪市立天白小学校　「チーム天白によるコース別学習」

教員(担任・専科・他学年)の指導 ＋ **ボランティア(学生・地域等)**によるプリント採点

★対象:小学校３～６年生　★時間:年８回、算数の授業

★内容:

「じっくりコース」
○今までに学習したことの復習
　・苦手な箇所の克服
○習ったことを使った問題解決
　・練習問題

「どんどんコース」
○自分のスピードに合わせた問題
　・さらなる問題への挑戦

※二つのコースを子どもが選択

●児童の声
　いろいろな先生からていねいに教えてもらえてわかりやすかった。

●ボランティアの声
　子どもたちは、本当にイキイキしていました。学習に取り組んでいる姿に、私自身も勇気をいただきました。

津市立南郊中学校区家庭学習支援本部　「南郊ナイトスクール」

「南郊ナイトスクールサポーター」(地域サポーター・学生サポーター)による夜間の学習支援

★対象:中学生（希望者）　★会場:南郊公民館　★時間:19 時～20 時 50 分

★内容:

【学年別学習サポート(火曜コース）】
○毎週火曜日・年間約 30 日
○英語 50 分、数学 50 分
　・基礎・基本的な内容の復習中心
　・テスト期間中はテスト対策にも対応

【全体自習サポート(金曜コース）】
○毎週金曜日・年間約 30 日
○自分で用意した教科書の問題やワークを自分のペースで進める

●サポーターの声
・知人に誘われた。不安もあったが、一緒に勉強すればいいと言われてやってみようと思った。
・自分にもできるとわかった。子どもといっしょに勉強することは楽しいし、自分のためにもなると思った。

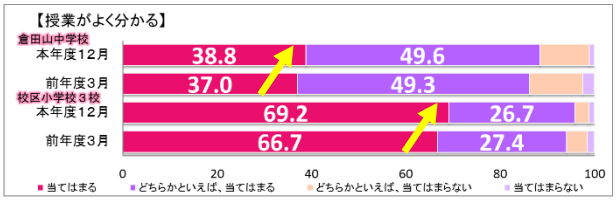
●参加生徒の声
　質問しやすく、わからなかった問題ができるようになり、家で自分ひとりでも別の問題ができるようになった。

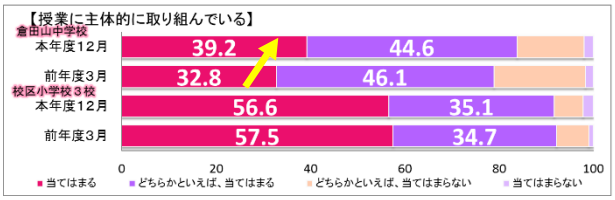
互いに認め合い，ともに支え励まし，自ら考え行動する児童生徒の育成を目指して　『魅力ある学校づくり調査研究事業』

本年度、伊勢市立倉田山中学校区（倉田山中学校、明倫小学校、有緝小学校、浜郷小学校）において、児童生徒一人ひとりが**「授業が楽しい」「みんなと協力することが楽しい」「学校が楽しい」**と感じることができる**「魅力ある学校づくり」**に取り組んでいます。**主体的に取り組む意欲・態度の育成**を中心に据え、授業で互いに学びあう場の設定や、様々な活動で児童生徒の主体的な活動を推進するとともに、小中の連携により中１ギャップの解消にも取り組んでいます。来年度は、この**「魅力ある学校づくり」**に伊勢市全体（１１中学校、２３小学校）で取り組みます。

★ 取組１「わかる授業づくり」★　～ 主体的に取り組む意欲・態度の育成 ～

・**「めあて」**を明確に示し、**「学びあう場」**と**「振り返り」**のある授業の実践
・**「主体的に学ぶ姿」**の明確化





●倉田山中学校区意識調査結果より●

★教室掲示例★

主体的に学ぶ姿
・話をしっかり聴こう
・自分の考えを持とう
・進んで発表しよう

《有緝小学校のタブレットを活用した授業風景》

ホワイトボードやタブレットを活用して、児童生徒が互いの考えや思いを共有する**学びあう場**を効果的に授業に取り入れることができました。このことにより、児童生徒が**主体的に思考する**場面が増え、より**深い学び**につながっています。

★ 取組２「心の絆づくり」★　～ 自他を大切にする児童生徒の育成 ～

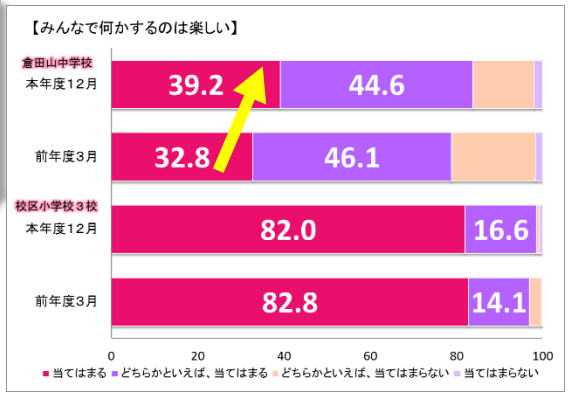
・学校行事を含め様々な活動を通して、**児童生徒同士のつながり**をつくり、主体的な活動の場を設定
・児童会、生徒会、委員会や係活動等、**児童生徒の自治的活動を推進**

《倉田山中学校体育祭での『倉中響演』》

＊児童会と生徒会の連携＊

小学生が作った折り鶴を中学校生徒会本部役員がもらい受け、広島平和祈念式典を訪れ、小学生の祈りも込めて奉納しました。

《明倫小学校にて小中交流》



●倉田山中学校区意識調査結果より●

＊生徒主体の倉中響演＊

生徒が何を表現するのかを考え、演舞の構成や内容を自ら立案し、体育祭で発表しています。この活動を通して、生徒同士の「絆」や「友情」を強め、**自己有用感**を高めています。また、縦割りで活動を進めていく中で、先輩としての姿を後輩に示し、学校の伝統として受け継ぎながら、自己表現をしています。このように、さまざまな学校行事を通して、**生徒の主体的活動**を推進しています。

★ 取組３「生き方の学び場づくり」★　～ 様々な活動や出会いを通して、生きる力の育成 ～

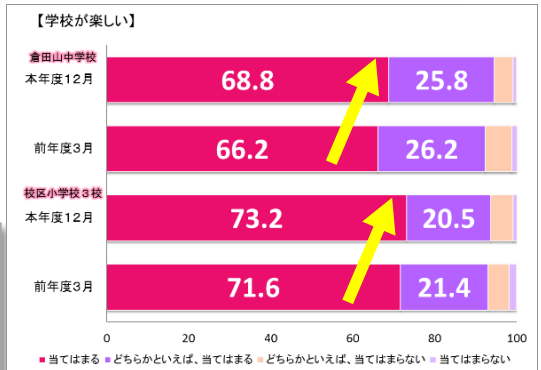
・**ゲストティーチャー**の活用
・**中学生から**学ぶ場の設定

《浜郷小学校のｹﾞｽﾄﾃｨｰﾁｬｰとの授業》

児童生徒が、地域で活躍している人たちから学ぶ機会に、頑張っている姿を認めてもらうことで自己有用感を高めています。

《倉田山中学校吹奏楽部が
有緝小学校文化祭で演奏を披露》

小学生が安心して中学校に入学できるように、倉田山中学校の生徒が小学校の文化祭を訪れ、中学生としての姿を見せるとともに、小学生とのふれ合いを通じて、友好的な関係作りを行いました。



平成２９年度 授業改善研修会を実施しました

小学校算数 【講師：文部科学省 教科調査官・教育課程調査官 笠井 健一】

演　題　「算数科における主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善」
開催校　１:名張市立錦生赤目小学校【習熟度別少人数授業】（平成 29 年 11 月 27 日 月曜日）
　　２:川越町立川越南小学校【習熟度別少人数授業】（平成 29 年 12 月 7 日 木曜日）
　　３:志摩市立志摩小学校【ティーム・ティーチングによる授業】（平成 29 年 12 月 8 日 金曜日）

＜講演内容より＞

数学的な考え方を育てる授業
～子どもが考えを深めることができたかどうか～

ねらいの達成
- 日常生活の問題
- **学習のねらい**
- **個人解決**
- 学び合い「**そういう考えもあるのか**」
- **学習のまとめ**
- **評価問題における解決**
- **学習感想「なるほど、よく分かった」**

考えの深まり、高まり

ノート指導の充実　見開き２頁
クラスで統一した方眼ノート

- 日付　授業番号
- 算数の問題
- **学習のねらい**
- **自分で解決する**
（友達の意見を聞いて書き加える）

改善

- 友達の考えを写す
- **学習のまとめ**
- 適用問題の解決
（よりよい解決方法を用いているか）
- **学習感想**

＜参加者の声＞

- 「深い学び」とはどのようなことなのかがとてもよく理解できました。特に、「深い学びや主体的な学びを考えたうえでの授業構想を考えていく」という視点がとても新鮮でした。
- 主体的・対話的で深い学びの授業に向けて、子どもたちの学びが深まり、じっくり考えられるような課題が必要であることが分かりました。第１の課題だけでなく、第２の課題も準備し、活動だけに陥らず、学びを伴った学習内容を考えていきたいと思います。
- 「～だから・・となる」といった考えをまとめる言葉や理由を説明する言葉について指導されていて、子どもたちの思考が整理しやすくなっていました。大変良かったです。(錦生赤目小)
- じっくりコースでは、まなボード（透明なプラスチックボード）を活用して、子どもたちが自分たちの考えを何度も書いたり消したりして思考を深める活動が行われており参考になりました。どんどんコースでは「課題」を提示した後、「めあて」を板書する流れでしたが、子どもたちが考えやすいと感じました。(川越南小)
- Ｔ１、Ｔ２の役割分担が明確な授業を見せていただき、どのようなかけ引きをしていくのか、どのように子どもたちにゆさぶりをかけていくのかを具体的に知ることができました。(志摩小)

中学校国語 【講師：文部科学省 学力調査官・教育課程調査官 黒田 諭】

演　題　「付けたい力を明確にした国語科の学習指導の充実に向けて」
開催校　鈴鹿市立天栄中学校（平成 29 年 12 月 5 日 火曜日）

＜講演内容より＞

◎付けたい力を明確にした授業のチェックポイント例
□学習指導要領の指導事項を基に、単元や本時の目標を設定しているか。
□上記の指導事項を指導するために効果的な言語活動を設定しているか。
□指導事項と言語活動とを関連させて、**単元における具体的な評価規準を設定しているか。**
□評価規準を、学習指導案に位置付けているか。
□評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられているか。
□それぞれの評価規準について「努力を要する」状況の生徒に対する手立てが考えられているか。

◎評価規準例「太宰治『走れメロス』」

＜評価規準１＞
　文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。
＜評価規準２＞
　描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想を持っている。
＜評価規準３＞
**　描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えながら文章を読み、王の心情の変化について本文中の表現を根拠にして自分の考えをまとめている。**

△学習指導要領の指導事項そのままでは不十分です。

○授業に沿った具体的な内容になっていますが、付けたい力が明確ではありません。

◎より具体的になっています。
他者が見て身に付けさせたい力がわかるようにしましょう。

＜参加者の声＞

- 何よりもまず改訂される学習指導要領を正しく理解し、指導事項をもとに授業を組み立てる努力をはじめようと思いました。
- 今日の授業で「根拠」「条件」を大切にしていくというヒントをもらえて大変勉強になりました。
- 研修会をとおして、自分の授業について見つめ直すことができました。子どもたちの言葉や考えを深められるように、教師側が解釈してまとめることではなく、子どもたちに戻し、様々な意見を聴きあえる授業づくりを展開したいと思いました。今後の授業改善に生かしていきます。

平成 30 年度に向けた年度末の取組

各学年における子どもたちのつまずきを、年度内に克服する取組を進め、一人ひとりの学力の確実な定着を図りましょう。

3 点セットを効果的に活用してください!!

子どもたちの課題に対応した「三重の学－Viva!!セット」や子どもたちが自分の力で解けるヒントを掲載したワークシート、過去の全国学調やみえスタディ・チェックの問題をワークシート化したものを、「**授業改善サイクル支援ネット**」に掲載しています。

全国学調やみえスタディ・チェックの再活用による改善

小学校６年生、中学校３年生

卒業までに身に付けるべき力を確実に定着させましょう。４月実施の全国学調で解けなかった問題を子どもたちは解けるようになりましたか。全国学調の問題を再活用して、理解できているか把握しましょう。

小学校５年生、中学校２年生

最高学年への学びにつなげることが大切です。
４月及び１月のみえスタディ・チェックで、解けなかった問題を再活用して、理解できているかを把握するとともに、授業や補充学習、学年末休業期間を利用し、学習内容の定着を図りましょう。

その他の学年

「わからない」「できない」まま次の学年に送らない!!
学習内容が理解できていないときは、全国学調、みえスタディ・チェック、ワークシートなどのツールを活用して、授業や補充学習、学年末休業期間を利用し、学習内容の確かな理解と定着につなげましょう。
全国学調に見られる小学校６年生・中学校３年生の課題を全教職員で共有し、各学年において系統的に学力を積み上げていきましょう。

三重県の経年的課題

- ○ 国語「根拠に基づいて自分の考えを書くこと」「引用したり要約したりして書くこと」
- ○ 算数・数学「割合」「図形」
- ○ 理科「実験・観察の技能（実験器具の名称や操作方法等）」「科学的な用語（蒸発等）」「濃度、圧力、電気等の計算」

これらの課題に対応したワークシート等を活用して、各学年で課題克服に向けた取組を行ってください。

全国学調結果を踏まえてみえスタディ・チェックは出題されています!!

全国学調結果を踏まえて、第２回みえスタディ・チェックを作成しています。小学校算数での例を次に示します。つまずきの検証を行い、つまずきの克服が十分でない場合、授業や補充学習で取り組んでください。

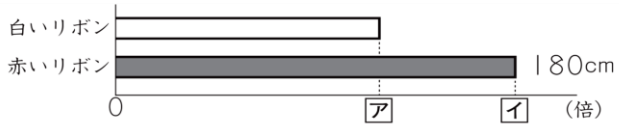
○ 平成２９年度全国学調結果より「割合」（Ｂ５（１））に課題

問題：「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選

示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を選択することに課題が見られました。「14%長い」を、基準量の 1.14 倍であることが理解できていませんでした。誤答である基準量の 1.4 倍を示す図を選択する解答が多く見られました。

○ 平成２９年度第２回みえスタディ・チェック５年生での出題

２（３）赤いリボン１８０㎝は、白いリボンの１.５倍の長さであるとき



① ア、イに入る数を、次の数から選択する
1、1.5、1.8、2

② 白いリボンの長さを求める式を示す

県では学年末に新たにワークシート等を提供します!!

ワークシートを配信（２月下旬）します！！

授業や家庭学習、補充学習等に活用してください。
«対象学年（教科）»
・小学校１・２年生（国語、算数）
・小学校３～６年生（国語、算数、社会、理科）
・小学校５～６年生（外国語活動）
・中学校全学年（国語、数学、社会、理科、英語）

三重の学－Viva!!セットを配付します！！

ヒントつき

３月上旬に市町等教育委員会を通じて、各学校に１部配付します。最高学年への学びにつなげるために、授業や学年末休業期間での補充学習や家庭学習で活用してください。
«対象学年（教科）»
・小学校５年生（国語、算数、理科）
・中学校２年生（国語、数学、理科）